

わかすぎ学園 那珂市立第四中学校 八年

地域コミュニティの重要性

岩 いわ 永 なが 美 み 桜 お

私には、五月になると必ず行く場所があります。それは、地域の子供会が運営している花壇です。

「今年はどんな花が咲くんだろう」

「どんなデザインだろう」

と、わくわくしながら見に行きます。

私は、小学校高学年の時に、立候補してその花壇のデザインを担当したことがあります。どんな花が花壇に向いているのかを自分でインターネットで調べたり、お花屋さんに行つて質問したりしました。分からないことが多い、思っていた以上に大変でした。そんな中、自治会の役員さんに花壇作りに詳しい方がいて、分からないことや大切なことなどを丁寧に教えて下さいました。

いよいよ花壇作りの日が決まると、花がきれいに、長く咲くようにと、地域の皆さんが、花壇の草や石を取り除き、

腐葉土を入れて事前に準備して下さいました。そのおかげで、イメージしていた通りの花壇を作ることができ、完成した花壇を見て、それまでの苦勞が報われた気がしました。

花壇ができると、子供会で水やり当番があります。自分の家から花壇まで水を運んで行かなければならなかったで、たっぷり水をあげられませんでした。夏場に少し枯れてしまった花があり、原因は水やりが不足しているのではないかと自治会の方が心配して下さいました。事情を話すと、花壇の近隣で井戸のあるお家を探して下さい、その井戸を自由に使わせていただけるように話をして下さいました。それから、ホースをつないで水やりができるようになりたっぷり水をあげられるようになりました。また、花壇の手入れをしていると、

「とてもきれいな花壇に癒やされているよ」

などと声をかけて下さる方もいます。

このように花壇運営を通して、地域の方に協力していただき、関わりを持つことができました。

水やりだけでなく廃品回収の時にも地域の方は協力して下さり、たくさんアルミ缶や段ボールが集まります。ある方は、

「何も手伝えないけど、捨てないで取っっておいて廃品回収に出すからね」

と声をかけて下さいました。また、地域の行事がある時には、「子供会で行事があると予定表に書いてあったからふかし芋を持ってきたよ」

と、優しさに触れて嬉しくなります。自分の生まれ育った地域で、親切な方々に囲まれて生活していることを実感します。

今度、私の住む地域にコミュニティセンターができます。地域の学びの場、交流の場になり、これからたくさんの方と触れ合うことができるのだらうと期待しています。

しかし、以前は自治会の数だけあった子供会ですが、生活スタイルの変化や少子化の影響により、今では数えられるほどしかないと聞きます。存続している子供会でも、会員数の減少に歯止めがかかりません。そのため、地域の行事の縮小を余儀なくされ、ふれあいの機会は減少していま

す。それは、地域の皆が協力して、次世代を担う子供を育てる、という子供会の目標が達成できないということになります。子供会は那珂市の伝統文化である大助ばやしを継承する役割も担っています。また、年齢の異なる仲間たちと活動することにより、上級生は下級生の面倒を見て、下級生は上級生をお手本とします。このような活動を通して、世代ごとの役割を自覚して行動できるようになります。さらに、地域の子供たちが元気に楽しく活動することにより、地域を盛り上げ、活気を与えることもできます。そうすると、地域全体に笑顔があふれます。日頃のコミュニケーションは、災害時の連携や防犯にもよい効果を期待できるでしょう。

ですが、現実には来年の子供会の存続さえわからない状況です。これからも地域の子供たちが元気に活躍し、コミュニティの中で支え合って生活していくために、時代の変化に合わせて、それぞれの世代がコミュニティを守り、受け継いでいく必要があると思います。私自身も、これからもコミュニティの活動に積極的に参加し、支えてもらう側から他者を支えられる存在になれるようにしていきたいと思っています。そしていつまでも、地域の花壇では、きれいな花とたくさん笑顔が見られることを願っています。